

この冊子は、市が取り組んでいる事業や実績などを、
市民の皆さんへ幅広く知っていただくために、
毎年、年1回発行をしているものです。

しょうそう
広報 常総



なんか、いいかも。
JOSO CITY



令和8年5月、水海道中心市街地にオープンした「水海道まんなかセンターみつかる」の児童センターエリア（ちびっこひろば・わんぱくひろば）

子どもまんなかまちづくり常総

妊娠期から出産期まで妊婦へ切れ目のない支援を

【問】保健推進課

【問】こども課



安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と経済的支援として、妊娠時と出産後の2回に分けて給付金を支給しています。

不妊治療費の一部助成がスタート

【問】保健推進課



不妊治療にかかる経済的負担を軽減するため、治療費用の一部を助成します。公的医療保険適用の生殖補助医療と併せて受けた先進医療や43歳未満で4回目以降保険適用外の生殖補助医療を受けた場合が対象です。

ツナグ未来誕生祝福金を支給

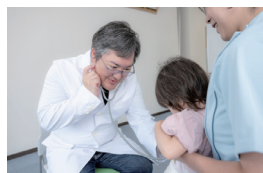
【問】こども課



新たな命の誕生を祝福し、健やかな育成を促すとともに、新生活を迎えるご家庭の経済的な負担を軽減するため、ツナグ未来誕生祝福金を支給しています。

子どもの医療費を助成します

【問】健康保険課



18歳までの子どもが医療保険を使って病院や薬局などを受診したときに、窓口で支払う自己負担医療費の助成をしています。

小児科神経発達外来医療体制充実

【問】保健推進課



きぬ医師会病院小児科神経発達外来の混雑を緩和するため、必要な人員を拡充し、診察や検査を希望する保護者の不安解消や必要な支援を迅速に行える医療体制を整えました。

ICT 活用で安心・安全な保育を

【問】こども課・学校教育課



登降園管理や日々の健康管理、園からのお知らせなどを電子化することで、保護者と園との連携を深め、園児の安心安全な保育環境の充実を図ります。

こども誰でも通園制度を開始

【問】こども課



保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの形で子育て支援の強化を目的として、6ヶ月から3歳未満の乳幼児をお預かりします。1時間300円程度で、月10時間まで利用できます。

病児・病後児の家庭をサポート

【問】こども課



子育て家庭の中でニーズの高い病児・病後児保育施設を令和9年度に開設予定です。あわせて、医療的ケアの必要な園児の受け入れを行い、多様化するニーズに合わせた子育て支援を推進します。

小中学校の学校給食費を無償化

【問】学校給食センター



給食費負担軽減交付金などを活用し、小学生を対象とした学校給食費の無償化を実施します。あわせて、本市独自の施策として中学生についても同様に給食費を無償化し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。



学校の体育館に空調を整備します

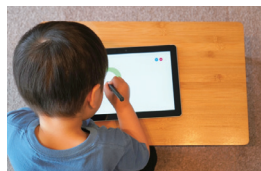
【問】学校教育課



令和8年度から令和9年度にかけて、水海道小学校と市内全中学校4校の体育館へ空調設備を導入します。授業や部活動での熱中症リスクを軽減し、児童生徒が安全に活動できる環境を確保します。

ICTを活用し学びを支えます

【問】学校教育課



ICT環境をアップデートし、教員の業務効率化を図るとともに、保護者連絡ツールなどを更新します。また、AIドリルを本格活用し、子ども一人ひとりに応じた学びを充実させ、質の高い教育環境を整備します。

発達段階に応じた英語教育の充実

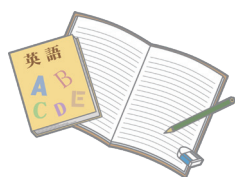


【問】指導課

市立幼稚園・小中学校での外国語活動や外国語科授業の指導を支援するため、外国語指導助手（ALT）を配置。9月からは5人を新たに増員し、外国語活動のない低学年に対して配置することで英語に触れる機会を増やします。

英語検定の受験料を一部補助

【問】指導課



市内在住で常総市立中学校に在籍する生徒が英語検定3級または準2級を受験した際、検定料の半額を補助する事業を開始しました。英語力向上のため、ぜひこの機会に「常総市英語検定料補助金」をご活用ください。

市内に4校目の高校が誕生

【問】資産活用課



鬼怒中学校跡地に、通学選択式・通信制普通科「わせがくPURE高等学校」が令和8年4月に開校しました。一人ひとりに合った学習スタイルが選択できることから、新たな進学先として注目されています。

不登校児童・生徒に寄り添う支援

【問】指導課



不登校やいじめ、交友関係の悩みなどの電話・面接相談を受け付けています。学習サポートも実施します。

奨学金の返済を支援します

【問】学校教育課



市から奨学金の貸与を受けていた方で、一定の要件を満たす市内在住者を対象に、奨学金の返済を支援するための補助金を交付します。これにより、奨学金の返済による経済的な負担の軽減を図ります。

公園遊具をリニューアル

【問】都市整備課



石下総合運動公園の遊具を更新しました。今後も地域の公園に設置している遊具を順次新しくしていきます。

生涯学習センター学習室を開放

【問】生涯学習課



2階学習室を市内在住または在学の中高校生向けに、無料にて開放しています。利用時間は9時～20時50分（中学生は18時）まで、先着40席です。休館日を除きご利用いただけます。ぜひお越しください。

地域で育む子どもの新しい成長拠点



【問】資産活用課

【問】こども課

【問】生涯学習課

水海道まんなかセンター「みつかる」には、年齢に応じた遊び場や中高生の学習空間、創作やエコを楽しめる部屋がそろっています。子どもの成長と創造力を支え、地域みんなで育む子どもたちの成長拠点です。また、交流センターも併設し、サークル活動を行う場として多世代交流を推進しています。魅力あふれる新拠点をぜひご利用ください。

毎日の健やかな暮らしを支えます

後期高齢者健康診査で健康維持を

【問】健康保険課



健康に自信がある方も、医療機関受診中の方も、年に一度は健康診査を受け、疾病の早期発見・早期治療につなげましょう。集団検診のほか、医療機関健診、ドック検診でも後期高齢者健康診査を受けます。

JOSO☆ハッピー体操で健康づくり

【問】高齢福祉課



JOSO ☆ハッピー体操は、こどもから大人まで一緒に実施することができる常総市オリジナルの体操です。筋力アップやバランス能力、歩行能力の改善・向上などの効果が期待できます。健康づくりにぜひご活用ください。

いつでも相談できる高齢者相談窓口

【問】高齢福祉課



体調が悪いときの受診先や介護・認知症に関する相談などを電話で受け付けています。(休日・夜間も相談可)
高齢者総合相談窓口は中学校区ごとに設置しています。

水海道中学校区：☎ 22-5352

水海道西中（北）区：☎ 24-1211

水海道西中（南）区：☎ 38-8101

旧鬼怒中学校区：☎ 23-3011

石下中学校区：☎ 42-1105

石下西中学校区：☎ 30-8283

休日・夜間：☎ 080-3400-6616

自宅で利用できる：☎ 38-8998
医療・介護の相談

スマホの使い方を学びませんか

【問】デジタル推進課



スマートフォン教室では、スマートフォンの基本的な操作方法を習得することができ、日常生活の利便性が向上します。
ぜひ高齢者向けスマートフォン教室にご参加ください。

移動スーパー・買い物代行サービス

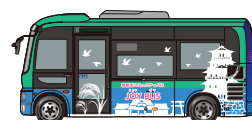
【問】高齢福祉課



お店まで買い物に行けない方を支援するため、日常の買い物を支援するサービスを実施しています。

もっと便利に、もっと身近に

【問】都市計画課



JOYBUS は、9月から利用の多いエリアを重点的に運行するルートへ見直しました。10月からは、ふれあい号の1台増車を予定しており、より多くの方が利用しやすいサービスを目指します。

◀ JOYBUS の運行情報はこちら

選挙投票所への移動を支援します

【問】総務課



投票機会の確保や安心して選挙に参加できるよう、選挙時に投票所までの移動にお困りの高齢の方や障がいがある方などを対象にタクシー往復料金の支援を行います。(事前の申込が必要です)



持続可能な地域づくりを目指します

地域コミュニティの活動を支援

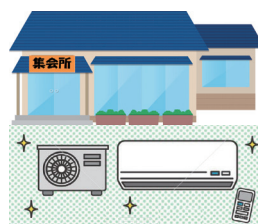
【問】市民と共に考える課



地域住民や各種団体が主体となって地域課題の解決などに取り組み、将来にわたり安全・安心に暮らせる持続可能な地域づくりを目指して、市内15地域で地域コミュニティ協議会の設立や活動を支援しています。

地元集会施設の整備事業を補助

【問】市民と共に考える課



地元で管理運営する集会施設の改築や修繕、エアコン設置などの整備に対し、費用の一部を補助します。町内会や自治会の金銭的負担を軽減し、安心して集まれる場づくりを支援します。

地域の人材育成と雇用支援を実施

【問】商工観光課



小中高校生が市内企業を見学し、地元で働く魅力や仕事について学ぶ機会をつくっています。また、企業向けセミナーや合同就職説明会を開催し、人材確保を支援します。

常総市の未来を創る AI 人材育成

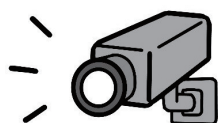
【問】商工観光課



現役エンジニアによるプログラミング教室を継続的に開催し、最新のAIの仕組みと技術を学べる機会を子どもたちへ提供します。

防犯カメラ等の購入・設置に補助

【問】防災危機管理課



(個人向け)



(団体向け)

個人向けに、防犯カメラや防犯カメラ付きインターフォン、センサー付きライトなどを設置する費用を補助します。また、団体向けに防犯カメラを設置する費用を補助します。

遊休資産活用で持続可能なまちへ

【問】都市整備課



官民連携で、市内の空き家や空き店舗を活用して事業を始めたい人と空き家所有者を繋ぐ「さかさま不動産」に取り組んでいます。空き家などの活用を通じて挑戦を応援します。

生ごみ処理容器等購入費を一部補助

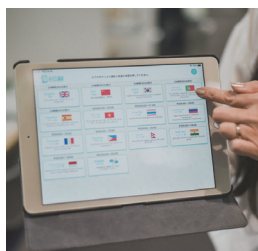
【問】生活環境課



家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、ごみの減量化や堆肥化など、資源の有効利用を図るため、生ごみ処理容器および電動式生ごみ処理機の購入者を対象に補助金を交付します。

多言語通訳システムの導入

【問】デジタル推進課



市役所の窓口で母語での対話が可能になり、言葉の壁による待ち時間が短縮されます。制度案内もより正確に伝わり、安心して暮らせるまちへ。混雑が緩和され、全ての市民がスムーズに手続きできるようになります。

産業の活性化と都市基盤の整備

アグリサイエンスバレー常総の事業効果で税収 UP！

【問】農業政策課



「道の駅常総」を核とした集客エリアは来場者約 460 万人（令和 7 年度）を突破し、企業進出により、現在約 1,700 人の雇用創出や年間約 4.6 億円の税収が見込まれるなど、圧倒的な交流人口の拡大と地域経済の活性化を実現しています。

次世代産業拠点とスマート IC

【問】都市計画課



大生郷工業団地周辺で次世代に向けた新たな産業団地の開発を進めています。圏央道スマート IC の誘致・整備と連携し、多様な企業が集う拠点を形成することで、豊かな雇用と活気あふれる魅力的なまちづくりを実現します。

意欲ある次世代農業者の育成

【問】農業政策課



アグリサイエンスバレー常総を核とした先進的な農業振興を推進するとともに、若手就農者の育成や農地の有効活用を進め、地産地消や販路拡大を推進し、地域経済の活性化を図ります。

道路・橋梁の適正な維持管理

【問】道路課



道路の円滑な交通に支障がある場合、速やかに補修などを行います。また、橋梁についても定期的な点検を実施し、損傷の度合いに応じて補修工事を実施します。

地域の除草作業に助成金を交付

【問】道路課



地域の生活環境を保全するため、住民自らが組織した団体で市管理の道路や水路の除草作業を行う「ふるさと愛護活動」に対して助成金を交付します。

上下水道の整備と水質保全に取り組んでいます

【問】下水道課

【問】水道課



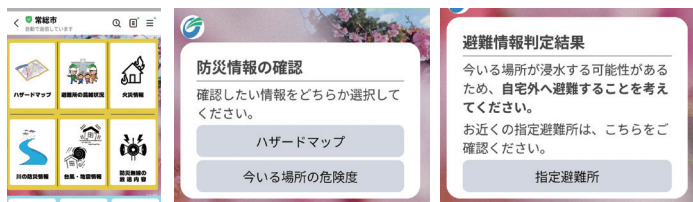
老朽化が進む上下水道について、日々の点検・補修に加え、新設・耐震化を計画的に進めます。また、下水道整備認可区域外の地域においては、合併処理浄化槽設置工事費の一部を補助することで、地域の水質保全に取り組めます。



防災先進都市へ向け取り組みます

LINE を活用した情報発信強化

【問】防災危機管理課



常総市公式 LINE アカウントの防災機能を強化し、防災行政無線や防災ラジオなどの機器と連動した情報発信や、現在地の浸水リスクや最寄りの避難所の情報などをワンストップで取得できるようにします。

災害時の生活必需品の整備を推進

【問】防災危機管理課



災害時に断水となった場合不足する「生活用水」の確保のため、個人や地域所有の井戸を「災害時協力井戸」として登録し、災害時に活用できるようにするほか、食料品や飲料水などの購入を推進します。

内水氾濫対策を強化します

【問】下水道課



大雨時などに樋管が閉鎖され、水路から河川へ雨水を排水できなくなった場合に備え、道路や家屋の浸水被害を軽減するため、雨水を河川へ強制的に排水する移動式の緊急排水ポンプを整備し、内水氾濫対策を強化します。

キャンプを通じ災害対応力を習得

【問】防災危機管理課



いつ起こるかわからない自然災害に備え、キャンプ体験を通じて、「楽しみながら防災に備える」、「生き抜く力を身に付ける」ことをテーマに小学生対象の「防災キャンプ」を実施します。

避難所運営について学ぶ研修実施

【問】防災危機管理課



避難所運営のノウハウを地域の方々に知っていただき、避難所の環境改善に繋げることを目的に、内閣府の支援のもと、千葉県野田市と合同で「避難生活支援リーダー/サポーター研修」を実施します。

「田んぼダム」の取り組みを推進

【問】農業政策課



気候変動で多発する大雨による河川の増水、道路の冠水などの浸水被害を軽減するため、田んぼから水路へ時間を掛けて排水し、水路が一気にあふれることを抑制する「田んぼダム」の取り組みを土地改良区や市内の農業者の方と一緒に進めます。

常総市の魅力・産品をPRします

市外からの応援を市政に活用

【問】財政課



ふるさと納税は、自分が生まれ育った「ふるさと」や応援したい地域へ寄付できる制度です。令和7年度の寄付額は過去最高の約9.1億円となりました。いただいた寄付は子育て政策などへ活用します。

きみの描いたヒーローが市をPR！

【問】秘書課

詳細は
こちら

子どもたちの市への愛着を深め、定住意向を高めるため、子どもたち考案のヒーローが市PRキャラクターになるワークショップやコンテストに加え、カード大会や特別講座など、市を知り、学ぶ機会を創ります。

友好都市やネーミングライツを推進

市制初！友好都市協定を締結

【問】常創戦略課



災害協定をきっかけに絆を深めた千葉県山武市、千姫ゆかりの地という縁で結ばれた東京都文京区と友好都市協定を締結しました。相互イベントへの出展などを通じて交流人口の増加を目指し、幅広い交流を進めます。

ネーミングライツ制度を推進

【問】資産活用課



公共施設などに企業名などの愛称をつける命名権を付与することの対価として、命名権料を得る制度です。市側は命名権料が新たな収入源となり、企業側は高い宣伝効果や地域貢献アピールにつながるメリットがあります。